

令和8年5月27日

~~令和年月日~~

葉山町議会議長 土佐洋子 殿

葉山町行政における財政規律の確立と  
税金の適正使用に関する説明責任を求める陳情書

【陳情の趣旨】

葉山町では近年、大型公共工事における費用の大幅な増加、耐震診断なしの施設解体計画など、住民の税金が不透明・不適切に使われることへの懸念が高まっています。葉山町議会として、行政の財政規律を厳しくチェックし、住民への説明責任を果たすよう求めます。

【陳情事項】

- 1 クリーンセンター再整備工事（共和化工株式会社との契約）において発生した約6億円の増額請求について、その原因・責任の所在・今後の対応を住民に説明すること。また工事遅延の責任が葉山町側の対応にあるという業者側の主張について、議会として事実確認を行うこと。
- 2 堀内会館の解体・建替え工事費（設計・解体費1億0689万4千円、総工事費約5億円規模）について、耐震診断を一度も実施しないまま解体を進める合理性、および費用の積算根拠・複数業者からの見積もり比較の状況を住民に公開すること。
- 3 住民が議員の活動報告書の記載内容を葉山町議会の公式記録（議員別賛否結果・一般質問記録・議事録）と容易に照合できるよう、議員別の賛否結果および一般質問記録を議会公式ウェブサイトにわかりやすい形で一覧表示することを、提案・検討されたい。
- 4 大型契約・公共工事の発注における競争性の確保、契約変更・増額の手続きの透明化、および住民への情報公開の徹底を図ること。
- 5 以上を踏まえ、葉山町行政の財政規律の確立と税金の適正使用を図るための仕組みを議会として整備すること。



【陳情の理由】

**1 クリーンセンター再整備——約6億円の増額請求と工期大幅遅延**

葉山町クリーンセンター再整備事業（共和化工株式会社との契約、当初契約額15.84億円）において、2024年度末時点で業者側から約6億円（物価変動等5.31億円＋追加工事0.96億円）の増額請求が発生し、両者の合意に至っていません。

2024年度	9.81億円	5.93億円（請求）	60.4%増
2025年度	0.66億円	0.34億円（請求）	51.5%増

業者側は工期遅延の原因について「葉山町担当者の強引かつ威圧的な対応により工期延長を受け入れてもらえなかった」と弁護士を通じて主張しています。この主張が公文書に記載されているにもかかわらず、葉山町は議会での質疑においてこれを否定しませんでした（令和7年1月31日特別委員会）。

1年間で60%を超える増額は公共工事として異常な水準です。物価変動による増額は一定程度やむを得ない面がありますが、増額率の水準と工期遅延の責任所在について、住民への明確な説明が必要です。

**2 堀内会館——耐震診断なしの解体・約5億円の根拠不明な支出**

令和8年度当初予算案に設計費・解体工事費として1億0689万4千円が計上されました。しかし、解体の理由とされる「老朽化・耐震性の問題」について、第1回再整備検討委員会（令和6年9月26日）の公式議事録において、事務局が「町の建物ではないので調査ができない」と明言しており、正式な耐震診断が一度も実施されていません。総工事費は約5億円規模に上ります。

【公式資料より】第1回堀内会館再整備検討委員会 議事録（令和6年9月26日  
葉山町公式サイト掲載）

委員「耐震診断等の調査は行っていないのか」  
事務局「町の建物ではないので調査ができない。そういった意味も含めて山梨町長はスピード感を持って検討したいと考えている」

耐震診断なしに老朽化と断定して数億円の解体・新築工事を進めることは、科学的根拠のない公費支出であり、認められません。また、議員報告版（2026年4月）においても

「修繕・耐震補強に要する費用と建替え費用の比較が示されていない」と指摘されています。

### **3 議員活動報告の透明性向上——公式記録との照合を可能にする仕組みの提案**

葉山町では複数の議員が定期的に活動報告書（ニュースレター・議会だより等）を住民に配布しています。一方で、住民がその記載内容を議会の公式記録と照合しようとしても、現状では容易に確認できる環境が整っていません。葉山町議会公式ウェブサイト「議員別賛否結果」「一般質問記録」を議員ごとにわかりやすい形で一覧表示し、誰でも検索・閲覧できるようにすることをご検討いただきたいと思います。

### **4 共通する問題——住民不在の財政運営**

以上の各問題に共通するのは、「住民への事前説明がないまま大型の税金が動いている」という構造です。クリーンセンターは契約管理の問題が招いた費用増大であり、堀内会館は科学的根拠なき解体計画です。いずれも、住民が事前に知り、意見を言う機会がないまま進んでいます。

葉山町の財政は決して豊かではありません。人口約3万人の小さな町で、これらの問題が積み重なれば、将来世代への財政的負担は計り知れません。議会として行政の財政規律を厳しく監視し、住民への説明責任を果たすことを強く求めます。

## **【むすび】**

住民の税金は、住民のために、透明かつ適正に使われなければなりません。大型工事の費用管理の問題、根拠のない施設解体——これらは個別の失敗ではなく、葉山町行政の体質に起因する問題です。

議会には行政をチェックする権能があります。住民の財産を守るため、本陳情の採択と実質的な行政監視の強化を、強くお願いいたします。

### **【根拠資料（すべて公式資料・公開情報）】**

- ・葉山町議会クリーンセンター再整備に関する特別委員会 参考資料（令和7年1月31日）
- ・第1回堀内会館再整備検討委員会 議事録（令和6年9月26日）葉山町公式サイト掲載
- ・堀内会館再整備の検討に関する報告書 葉山町公式サイト掲載
- ・建通新聞「葉山町 堀内会館再整備 26～28年度で設計・解体・新築」（2025年12月10日）
- ・議員報告版「堀内会館の建替え判断に疑問 科学的根拠と説明責任は」（2026年4月）

・葉山町議会「議員別賛否結果PDF」(R5第2回～R6第4回) 葉山町議会公式サイト掲載

・返子市議会議員ブログ「葉山町クリーンセンター再整備事業遅延の責任は誰？」(公開情報)

以上

【陳情者】

住所

葉山町堀内1473

氏名

(印) 荒井喜一

電話

046 825 7818